



三原小学校学校だより

坂上からの発信

教育目標

- ・心ゆたかで、思いやりのある子供
- ・ねばり強く学習する子供
- ・すすんで体をきたえる子供

学校ホームページ

<http://www.hachijomachitky.ed.jp/mihara-es/>

令和5年10月17日号

八丈町立三原小学校

〒100-1623

八丈町中之郷 2474

04996(7)0017

成長し続けよう！

校長 記野 邦彦

10月に入り、少しずつ秋本番という感じの天候になってきました。そのような中、5日(木)の午前中に、八丈島の小学校5年生は、講師の方に田植えからご指導いただいた稲作の体験学習のまとめの稲刈りを行いました。また、田んぼからの帰りに海ゴミに関する学習のため横間海岸へ向かおうとスクールバスに乗り込んだところで、津波注意報が発令され、急遽、取りやめました。その後、9日(月)スポーツの日の早朝にも、津波注意報が発令され、津波が八丈島に2度以上到達して、漁船が流されたり、船底に穴が開いてしまったりの被害に遭われた様子が報道されました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。自然災害から一人一人の命を守るには、自らが適切な行動をとることが大事になります。日頃から災害への備え、防災に関する知識、心構えをしておきましょう。



10月22日(日)には、いよいよ第8回三原大運動会の開催予定となっています。本番当日は天候に恵まれて、一人一人の頑張りの成果が思う存分に発揮されることを願います。そして今年度は、4年ぶりに地域の皆様にも参加していただいての開催となります。坂上の皆様とともに、児童・生徒も含めて参加者、参観者全ての人が笑顔溢れる三原大運動会にしていきたいと思えます。

さて、今年6月最年少で名人となり、先日、史上初の全八冠を制覇した藤井聡太棋士に関する記事(八冠達成前の8月に掲載)ともう一つ、司馬遼太郎氏の記事を紹介します。

『…待ちに待った快挙にも藤井聡太が子供の頃に通った愛知県瀬戸市の「ふみもと子供将棋教室」の文本力雄さんは「聡太にとってはまだまだ修行の段階ですよ。名人も全冠制覇などへの一里塚でしかないはず」と甘やかさない。将棋の戦法には大きく分けると居飛車と振り飛車があるが、文本さんは「大山さん(大山康晴十五世名人)も振り飛車が有名ですが、飛車を振り出したのは居飛車を極めた後です。私の教室では振り飛車は初段を取るまでは禁止しています。初段になったら振り飛車を選んでもいい」と言ったが聡太は選ばず、居飛車を極めて名人になったんです。」(中略)藤井聡太は新記録達成のたびに「記録については意識していない」と語ってきた。だが、七冠達成の翌日、朝日新聞の将棋専門記者に「(八冠達成の)チャンスは今年くらいかもしれません」と話したという。意外に無頓着ではなかったのか。』

『源義経、徳川家康、宮本武蔵、坂本龍馬…。歴史的人物の生涯とともに、その人間像に迫った作家・司馬遼太郎氏。本年、生誕100周年を迎える。「世のためにつくした人の一生ほど、美しいものはない」とエッセーにつづった氏が、「特に美しい生涯を送った人」とたたえた人物がいる。江戸末期の蘭医学者・緒方洪庵である。生まれつき病弱だった洪庵は、医学の道を志す。地位や名声には目もくれず、ただ人を救うために尽力し、種痘の普及やコレラの治療に多大な功績を残した。また、大阪に適塾を設立。慶應義塾を開学した福沢諭吉、日本赤十字社の創立者、佐野常民といった幾多の人材を世に送り出した。司馬氏はこうも記している。「かれの

<裏面に続く>

偉大さは、自分の火を、弟子たちの一人一人に移し続けたことである。」(『対訳 21世紀に生きる君たちへ』朝日出版社)「誰かのために」という生き方を貫き、その信念を伝えるには、何よりも自分が燃えていなければならない。成長の止まった人間は、人に触発を与えることはできない。』

三原大運動会が無事に終わり、一人一人が大きな成果という「実り」をもって11月に入っていきます。この二つの記事からも日々の学習、各行事を通して得た体験、地域の方々からの学びを止めず、さらに成長し続けてほしいと願います。これからさらに地域に出て、多くの人たちとの関わりを大切にしたい学びを進めていきます。ぜひ、地域の皆様にも本校の児童と関わっていただき、多くの学びのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

《連合音楽会》

9月22日(金)おじゃれホールにて、連合音楽会が行われました。本校からは4・5年生が出演し、3年生と一緒に鑑賞しました。演奏した子供たちは「他の学校の演奏を聴くのも楽しかったけど、自分たちが演奏している時が一番楽しかった。」「本番はとても緊張したが、終わった後の達成感がとても気持ちよかった。」と充実した様子で振り返っていました。



《ふれあい給食》

今年は各地区の老人会の方と「ふれあい給食」を行います。今までコロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の一環として中止となっていましたが、ようやく開催することができました。9月27日(水)は樫立地区の方と5年生が交流をしながら給食を食べました。最後に連合音楽会で歌った「Believe」を聞いていただきました。参加された老人会の皆様、ありがとうございました。地域の方との交流会が今後も続けられることを願っています。



《文化派遣事業》

9月27日(水)・28日(木)に文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」として、昨年度と同様、演舞麗夢(えんぶれむ)のみなさんを講師にお招きし、殺陣(たて〜チャンバラ〜)の指導をしていただきました。難しい立ち振る舞いを全員が真剣に、そして楽しみながら学ぶことができました。学んだ成果は運動会の小学生全員で行う集団演技「三原色フラッグ」の中に一部取り入れて披露します。



10月5日(水) 稲刈り・脱穀

5月に植えた稲がたくさん実り、収穫を迎えました。子供たちは、講師の方に教わりながら、鎌を使って丁寧に稲を刈り取ったり、稲の束を抱えて脱穀機まで運んだり、一生懸命汗を流しました。



《収穫祭について》

厳しい暑さや激しい雨にも負けず、今年度もサツマイモが土の中ですくすくと育っているようです。11月2日(金)にサツマイモ掘りをし、育ったサツマイモに感謝しながらいただく収穫祭を、11月18日(土)に予定しています。今年は、引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策に配慮しながら、縦割り班でサツマイモを調理して食べる予定です。縦割り班で高学年が中心になり、メニューを決め、学年に応じた仕事を割り振り、協力して調理します。

ぜひご家庭でも収穫祭での美味しかったお話をしながら、収穫の喜びを共有していただけたらと思います。



《三原グリーンレンジャー・校庭整備の活動》

10月7日(土)の校庭整備には、多くの方からご協力をいただきましてありがとうございました。これをもちまして、今年度の校庭整備の活動は終了となります。一年間ありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。



11月の行事予定

日	曜	行 事 等
1	水	SC
2	木	サツマイモ掘り クラブ
3	金	文化の日
4	土	東京都教育の日
5	日	
6	月	
7	火	安全指導・安全点検 SC 6年癌教育
8	水	避難訓練
9	木	島嶼研(特別支援) クラブ
10	金	島嶼研(特別支援)
11	土	
12	日	
13	月	持久走月間始
14	火	ふれあい給食(末吉)
15	水	特別時程 SC 2・3・5年町教研授業研究
16	木	特別時程 3年校内研究授業
17	金	持久走・雪山体験事前健診
18	土	土曜授業 収穫祭
19	日	
20	月	
21	火	SC 給食試食会
22	水	
23	木	勤労感謝の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	持久走大会試走 SC
30	木	

※SCは、スクールカウンセラーの勤務日です。

11月の生活・保健目標

生活指導目標

☆ろうかは右がわを歩こう

保健目標

☆姿勢に気をつけよう

食育目標

☆よくかんで食べよう

「ろうかを走らない」、小学校の長年の課題です。ろうかをついつい走ってしまう子供は多いものです。指導しても走ります。低学年とは限りません。指導して直るなら、これほど長く課題にはなっていないことでしょう。でも諦めません。

「走らないようにね」と声をかけると、「はい」と返事をしながら走っていきます。友達に「走っちゃダメだよ」と言いながら、走って追いかける子もいます。ろうかの角を曲がるとき、後ろを振り返る子は、大抵曲がってから走ります。後ろ足が蹴り上がっているのが一瞬見えます。一番見つけやすい教室前の廊下を走りますから、裏表はありません。子供たちはとても素直です。

「授業や活動に遅れないようにしなくちゃ」という気持ちが強いのでしょう。休み時間はそう長くはないので、子供たちに余裕がないのかもしれませんが、また、長いろうかを見ると衝動的に走りたくなるのかもしれませんがね。

では、なぜ、ろうかを走ってはいけないのでしょうか。学校ではよく「けがをするから」と説明しますが、私は、それだけでは説得力がないと思います。子供の気持ちは、「大丈夫」「めったに転ばない」「急ぎたい」というところだと思いますが、敢えて厳しく表現するなら、もし、自分が転んでけがをしたら、そこから学ぶこともあると思います。ろうかを走ってはいけない理由は、「けがをするから」に加えて「相手にけがをさせるから」だと思います。

ろうか歩行は、「落ち着き」「思考力」「判断力」と相関関係があります。ろうかを走る子は、道路に飛び出してしまうのではないかと心配です。今後も根気強く指導してまいります。

(生活指導主任)